小林市立病院
Kobayashi city Hospital

No.71
院内NEWS
平成29年11月2日発行
発　行／小林市立病院

院内感染防止 対策研修会を開催しました

10月23日（月）当院大会議室にて感染対策委員会主催の院内感染防止対策研修会を開催しました。今回のテーマは「インフルエンザと感染性胃腸炎の対応について」です。手洗いの方法と、それぞれの感染症の特徴や感染防止対策を改めて学ぶ機会となりました。

1 石けんとアルコールの比較

1．アルコールは石けんと流水よりも殺菌力が強い
2．アルコールは手指衛生に必要な時間を短縮できる
3．アルコールが手指を迅速に乾燥させることができる

石けんと流水	細菌の減少数
15秒間	1/4 ～ 1/12
30秒間	1/63 ～ 1/630

アルコール	細菌の減少数
15秒間	1/3000
30秒間	1/10000 ～ 1/100000

2 インフルエンザ

インフルエンザには
アルコール消毒が効く！

主として環境表面からの接触感染や飛沫感染、くしゃみ、咳等のしぶきを吸入することにより感染する。

院内感染を防ぐには

- 来院時の問診、面会者の制限
- 手指衛生（手洗い＋アルコール消毒）
- 環境清掃
- 咳エチケット、うがい
- 予防接種の推奨…季節性インフルエンザワクチン

3 ノロウイルス

感染性胃腸炎の発生状況で11月～2月の9割以上がノロウイルスです。

ノロウイルスの特徴

- 感染、増殖する部位は小腸。
  糞便の処理に加え、嘔吐物の処理も重要！
- アルコールが効きにくい。

ノロウイルスには
次亜塩素酸ナトリウムが効く！

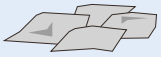
汚物の処理の対応

- 使い捨て個人防護具の着用
- 立入りの制限
- 十分な換気
- 効果的な殺菌剤の使用
  （適切な濃度で常備する）
- 広範囲の清浄化
- 処理後の手洗い
  （処理後は2度手洗いを！）

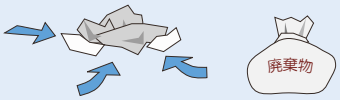
嘔吐物など汚染がひどい場合
次亜塩素酸ナトリウム溶液
0.1%希釈液

1 汚物に適切な殺菌剤をまんべんなくかける

2 新聞紙で覆う



3 ウイルスが飛び散らないように汚物をペーパーや新聞紙ごと外側から内側に向けて取り除く



第２８回宮崎県国保地域医療学会に参加しました

10月28日～29日にシーガイアコンベンションセンターで開催された第28回宮崎県国保地域医療学会に当院職員33名が参加しました。当院からは28日に4名が研究発表を行いました。2日目の29日は3名が研究発表、1名がパネルディスカッションを行う予定でしたが、台風のため急遽中止となりました。

研究発表

副看護師長 猪上 広美　「当院におけるクリニカルパスの現状と課題」
副看護師長 橋爪 由美　「多職種学生ごちゃまぜ実習（振り返り）の取り組み」
看護師　鵜戸 天恵　「身体拘束の統一した判断を目指して ～フローチャートの活用～」
看護師　種子田 健太「手術室外回り看護師のアイシールド着用に向けて－行動変容ステージモデルを活用して－
看護師　馬場 恵子　「尿失禁がある患者に対して排尿自立に向けた援助～骨盤底筋訓練を加えての尿失禁状態の変化～」
理学療法士 和田　隆　「当院回復期リハ病棟の費用対効果に係る現状と一考察 ～アウトカム実績指数を用いて～」
作業療法士 渡辺 真理　「在宅復帰に向けた支援 ～他職種との連携～」

パネルディスカッション

看護師　山之口 澪那「地域医療を担う人材の育成」